

てるてる子どもの城

◎「6月和気藹藹・良い我慢or悪い我慢」



6月といえば、「梅雨」。雨の日はみんなで、和気藹藹と友達と楽しく過ごす子が多いように感じます。和気藹藹(わきあいあい)は、なごやかで楽しい気分が満ちあふれ、なかよく打ち解けて談笑するさまを意味する言葉です。集会室で、創作活動室で、図書室で仲良くみんなというのが楽しくて仕方ない、友だちと交わるのが嬉しいというような、和気藹藹とリラックスした子どもたちが4月に比べ増えてきたと感じています。

ここでの生活に慣れ、緊張が解けてきたのだと思います。

それは、お互いがリラックスするために、自分の思い、願いを「☆良い我慢」で、上手に乗り越えていると予想されます。

☆「良い我慢」は心の成長や、自分や大人、友達との信頼関係を大きく築くベースになっています。

△「悪い我慢」は本人が自分を犠牲(強い我慢)をしている。△自分の接し方で相手が困惑していることに気付いていない。(程度の差こそありますが、誰でもだと思えます。)

それに対して、△私たち大人が有効な手立てや声かけが上手にできていない状態が続いていることが△「悪い我慢」です。しかも、☆と△が複雑に絡み合っているのが私たちです。

『子どもの和気藹藹』は、私たち大人が子どもに『笑顔と粘り強さで言葉を通して諭す、長い根 競べ』と≠(ニアリーイコール)です。

少しの良き変化を逃さず、大人の笑顔と言葉で分からせることが『一丁目一番地』だと思えます。それに近づく考え方のひとつとして・・・



◎「思いやり算+、-、×、÷」の紹介

一年生ではまだ、×、÷は学習しませんが、「思いやり算」として先に覚えても良いと思えます。

「+、たすけ合う」「-、ひき受ける」「×、声をかける」「÷いたわる」と言う「思いやり算」が出来るとなれば良いと思えます。私たち大人は、お子さんがみんなと和気藹藹に接し、「☆良い我慢」が出来ることが大切と思えます。「細く長く、粘り強く伝えていく。」ための考え方として「思いやり算」を紹介してみました。



(↑おもちゃが混じっても、テーブルをそれぞれシェアして遊んでいます)

感染症対策

6月だけに限った事ではありませんが、食中毒になりやすい季節です。報道では水ぼうそう・溶連菌の報告も。館内では引き続き、入館時の検温、手先のアルコール消毒、手洗い励行中です。ハンカチを忘れず持たせてください。



似顔絵・アートイベントは、申し込み制です。開催予定日をご確認のうえ、子育て広場開催日の火・水・木の10時~13時、担当職員在中時に詳細をご確認の上、お申込みください。

